

平成 22 年度 大学職員情報化研究講習会～応用コース～
第 1 分科会 学生の主体的な学びを支援するための学生情報の活用

グループ 2 作業報告書

グループ 2 では、まず各自の大学の学生カルテ、ポートフォリオの導入状況を紹介した。その結果、導入済みの大学はわずかであり、殆どの大学は導入予定もしくは検討中であり、それぞれの機能・用途に対する理解も一定ではないことがわかった。そこで、学生カルテ、ポートフォリオについての認識を共有するために定義付けを行った。議論の結果、『学生カルテ』とは、「教職員が」学生の情報を一元的に管理し学生支援のために活用するものであり、その中に『ポートフォリオ』機能が含まれる。その『ポートフォリオ』とは学生と教職員がコミュニケーションを通して双方向的に記録を残し、「学生が」自分自身の振り返りや気付きのために使用するものであるとの共通理解を得た。

上記の認識を基に、『学士力 etc*向上のための学生カルテ／ポートフォリオの効果的な運用方法』を討議テーマとし、大学入学前から卒業後までの各段階における運用方法とその課題について議論していくことにした。

*学士力とは、きめ細かい学生支援や学生自身の振り返りによる質の保証、社会人基礎力の育成を含む。

以下が各段階における活用法である。

【入学前】学生への動機付け

入学予定者が入学手続き後に入力。プロフィールや大学で学びたいこと、将来の夢についての作文等をポートフォリオに入力してもらう。プロフィールは学生カルテの基礎情報、作文はポートフォリオの基礎情報となる。

【1～2年次】慣れる

学生にポートフォリオに慣れてもらうために、各授業の履修目標の設定・課題提出やキャリア形成科目の授業の中でポートフォリオを利用する。その他にコンピテンシーテストや資格、アルバイトの経験、さらにそれらから得た成果物などを記載・登録しておくことで、後々の振り返りに役立つ。また、学生のポートフォリオ活用意欲を高めるためにも、担当教員の積極的な投げかけ・レスポンスが必要である。

【3～4年次】教育

アカデミック・ポートフォリオとして、低学年次の振り返りと学習計画策定のために活用する。より具体的な目標設定を行う必要があることから、卒業研究のテーマ、卒業後の進路等、詳細な項目設定が必要である。これにより、教育の質の保証にも繋がる。

【卒業後】振り返り、後輩支援

学生本人にポートフォリオの記録を個人の卒業アルバムとして渡したり、データ照会を可能にすることで、卒業後も自身の振り返りやキャリア策定に活用してもら

うことができる。大学側としては、進路分析や後輩支援、学生カルテ／ポートフォリオの有効性の検証に活用することが可能となる。このように卒業後も学生カルテ／ポートフォリオを利用することで、学生満足度が上がることも期待出来る。

【1～4年次を通じて】キャリア形成

全ての年次を通じてポートフォリオをキャリア形成と結び付けていく必要がある。そのために、キャリア形成についての授業との紐付けや、年次毎に内容の深化したポートフォリオを作成する等の取り組みが必要である。また、半期～1年毎に目標設定や振り返りのフェーズを設けることでPDCA サイクルを回すことが大切である。

学生を支援する担当者については、学年が低い段階では主に『担当教員』、学年が上がって将来のビジョンが具体化していくにつれて『キャリアセンターのスタッフ』に比重が移行していくことが考えられる。担当教職員は学生カルテの情報を適宜アップデートすると同時に、積極的にポートフォリオ上でのレスポンスを行う。

【課題】

各段階やニーズ、内容に応じて学生カルテ／ポートフォリオの情報公開範囲の細やかな設定が必要となるが、これらは大学毎の状況に応じて検討する必要がある。さらに、教員の利用率の向上、Face to Face のコミュニケーションとの使い分けが課題として認識された。

以上のように、学生自身のキャリア形成、ひいては学士力の向上を目的として、入学前から卒業後の各段階におけるニーズを明らかにし、学生と教職員が積極的に活用できる仕組みづくりが必要であるとの結論を得た。

グループ2では、3日間の討議を通じて学生カルテ／ポートフォリオに対する理解を深めることができた。グループのメンバーそれぞれが今回の研修の成果を持ち帰り、各大学の特性や教育目標に即した効果的な学生カルテ／ポートフォリオの導入・運営を実現したい。

(文責：高橋)

グループ2 構成員

永石 美穂 長崎ウエスレヤン大学 (進行)
黒川 智広 愛知大学
植野 隆広 摂南大学
飯田 篤 椋山女学園大学
西川 直宏 甲南大学
大谷 啓輔 神戸学院大学
高橋 美穂子 国際基督教大学 (書記)
奥田 俊樹 日本システム技術株式会社 (発表)